

大阪大学での臨床研修実践例

-患者確保と協力型施設との連携-

大阪大学歯学部附属病院 口腔総合診療部

竹重文雄

本日のテーマ

※症例数や患者数の確保について

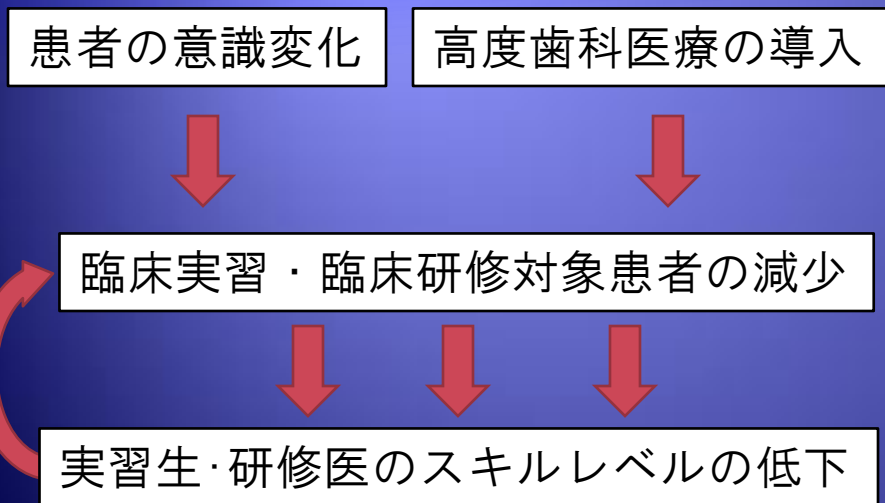
※臨床研修施設との連携

継続して受入実績のない臨床研修施設への対応

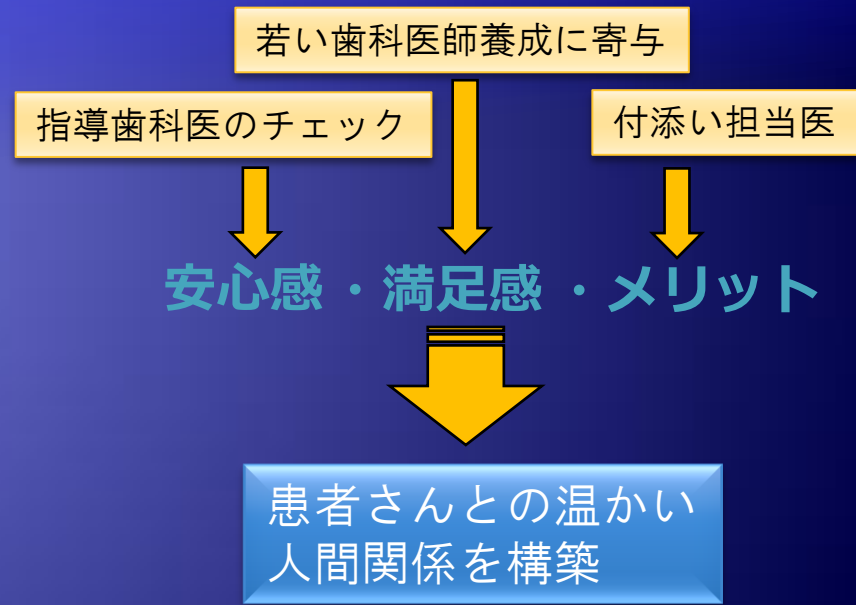
協力型施設受入れ時の留意点

教育診療協力患者の確保

その背景...



日本では患者に経済的メリットの付与は困難



教育診療協力患者さんに安心感と満足感、さらにメリットもあると感じていただける仕組みを構築

教育診療協力患者（新患）の確保

- ◆ 歯科検診の実施
 - 大阪大学新入生約3500名の歯科検診を実施
 - 新患として年間約30名来院
 - 大半が協力患者を承諾
- ◆ 患者さんにメリットを感じてもらう
 - 患者さんとの温かい人間関係を構築する工夫

臨床実習と臨床研修の両立

臨床研修必修化（平成18年）

臨床研修重視
の傾向

指導医・患者など
人的資源の限界

臨床実習形骸化の恐れ

実習生・研修医のスキルレベルの低下

伝統を継承し新たな環境へ対応可能な
卒前臨床実習と臨床研修の密接な連携

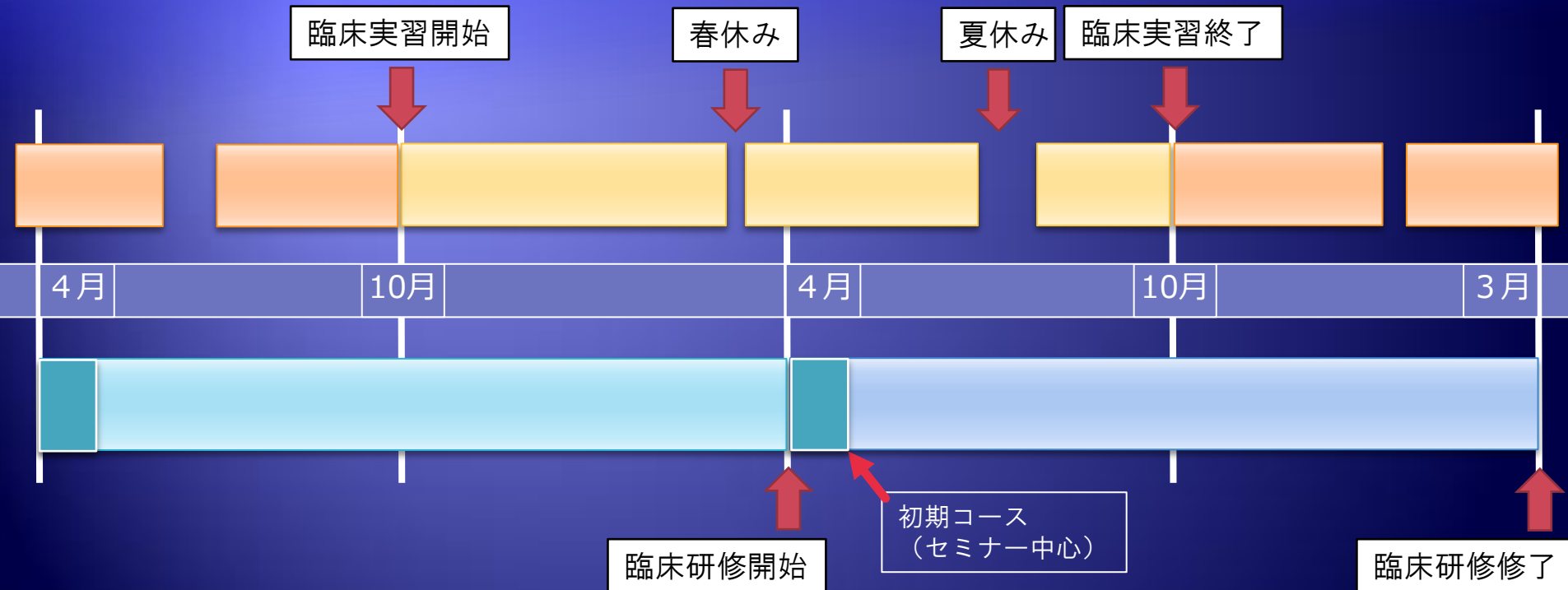
開始時期屋根瓦
方式

チーム屋根瓦方式

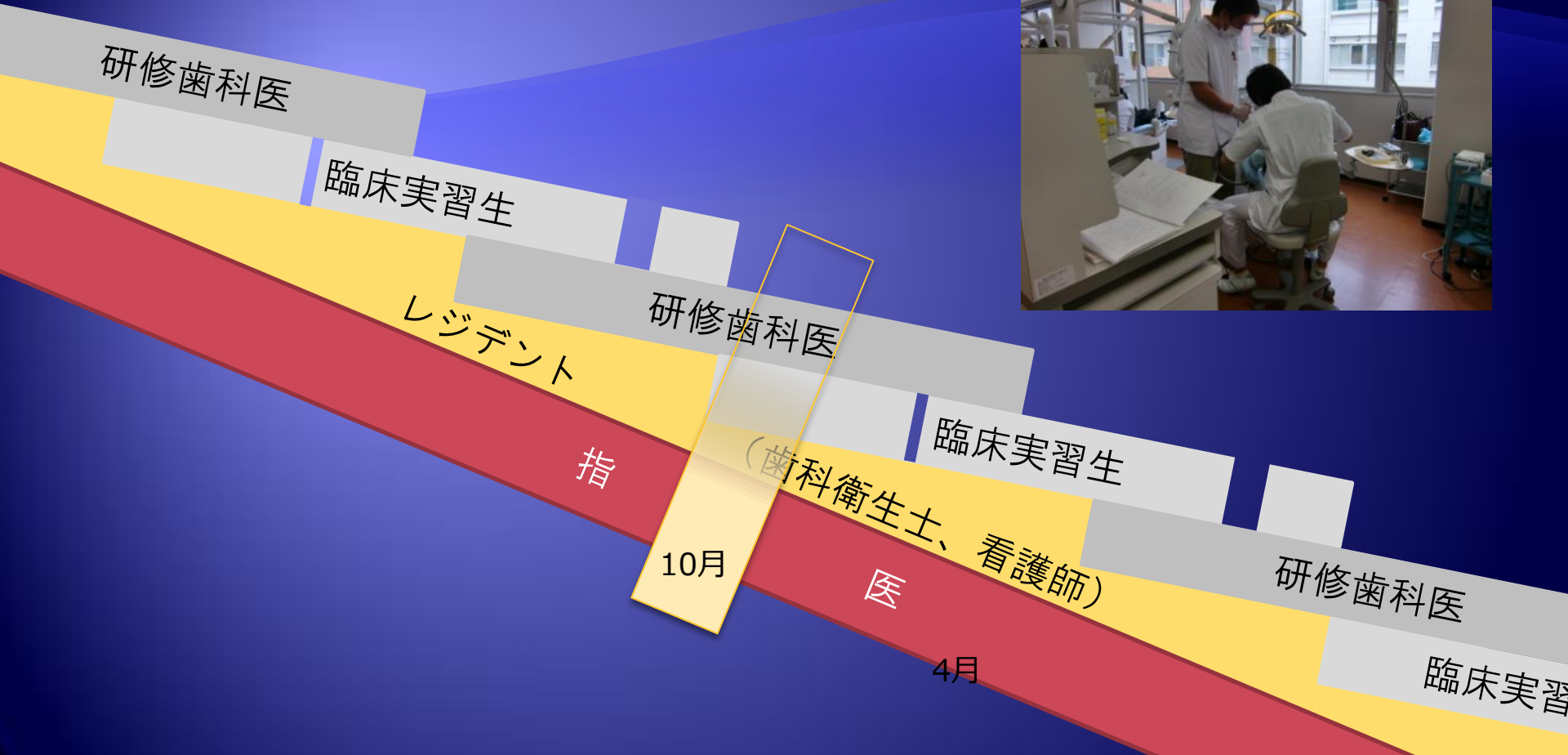
指導医、レジデント、研修医、臨床実習生による
クリニカルチームとして担当医制度を維持

両者を均衡させながら充実

大阪大学歯学部における 臨床実習と臨床研修のスケジュール



開始時期屋根瓦方式



チーム屋根瓦方式

指導歯科医はチームを統括する

指導歯科医

レジデントは、指導歯科医の指導を受けながら、その指示に従い研修歯科医に必要な臨床指導を行う

レジデント

研修歯科医は指導歯科医、レジデントの指導を受けながら、臨床実習生に必要なアドバイスを行う

研修歯科医

臨床実習生は指導歯科医、レジデントの指導、研修歯科医のアドバイスを受けながら、学年引継ぎ時には下級生に対して必要なアドバイスを行う

臨床実習生

ダブル屋根瓦方式を採用することによって.....

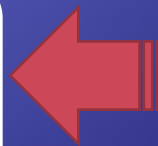
- ◆ 教育診療協力患者が確保しやすくなる.
- ◆ 教育診療協力患者および指導歯科医の人的資源としての効率化が図れる.
- ◆ 研修歯科医にとっては、後輩の学生に常に見られているという緊張感から研修効果の向上が期待できる.
- ◆ 実習生にとっては、卒業後の自分の姿がイメージできる.
- ◆ 実習生が常に研修歯科医の介助役となってしまうのではという危惧が指摘される.



本学では臨床実習の開始時期が10月と臨床研修開始時期と6カ月ずれていることから、一方が次の学年への引継ぎとなる時期には他方が主体的に治療を担当できる.



患者の引継ぎがスムーズに行えるだけでなく、臨床実習に慣れた4月以降は臨床実習生が主体となり、研修歯科医がそれを介助するという形がとれる.



診療参加型の臨床実習と
診療主体の臨床研修の両立



研修歯科医が主治医



臨床実習生が主治医



一般歯科総合診療センター



複数の指導が可能な設計



救急担当とバックヤード



ダブル屋根瓦方式の今後の課題

1. クリニカルチームの構成員（指導歯科医・レジデント、研修歯科医、臨床実習生）と患者の都合を調整して予約日を決めなければならないことから、予約の間隔が空いてしまうことがある。
2. 一旦決まった予約日時を変更する際の作業が煩雑となる。
3. 臨床実習生が研修歯科医に遠慮してしまうことがある。
4. チーム内の人間関係が学習（研修）効果に影響を及ぼすことがある。

協力型臨床研修施設との連携の問題点

- ◆ 複合型プログラム定員20名
- ◆ 平成18年度 (17名14施設 : 全施設数30)
- ◆ 平成19年度 (16名15施設 : 全施設数38)
- ◆ 平成20年度 (18名16施設 : 全施設数44)
- ◆ 平成21年度 (18名15施設 : 全施設数56)
- ◆ 平成22年度 (18名16施設 : 全施設数66 (採用希望なし5))
- ◆ 平成23年度 (18名16施設 : 全施設数69 (採用希望なし7))
- ◆ 平成24年度 (16名13施設 : 全施設数69 (採用希望なし6))
- ◆ 平成25年度 (16名10施設 : 全施設数68 (採用希望なし2))

協力型臨床研修施設に関わる申し合わせ

研修施設としての活動が十分でないと判定された施設に対する群からの辞退勧告
平成24年3月

活動の判断目安

- ◆ 研修歯科医受け入れ希望
連続2年以上受け入れ希望のないとき
- ◆ 臨床研修説明会参加状況
連続2年以上採用等説明会に参加がないとき
- ◆ 研修管理委員会出席状況
1年以上研修管理委員会の出席がないとき
- ◆ 研修歯科医受け入れ状況
連続4年以上受け入れ実績のないとき

以上の項目に該当する場合は、勧告の協議対象となる

協力型臨床研修施設との連携

- ◆ 協力型臨床研修施設訪問
- ◆ 臨床研修説明会への参加
- ◆ 協力型臨床研修施設でのインシデントの収集

協力型臨床研修施設との連携

◆ 協力型臨床研修施設訪問

※施設の新規申請時

- ・ 施設責任者・指導医との面談
- ・ 設備、スタッフ、診療状況の視察

※当該年度研修歯科医が研修中の施設を訪問

- ・ 面談（指導歯科医、研修歯科医）
- ・ 研修環境の視察
- ・ 改善の申し入れ

協力型臨床研修施設との連携

- ◆ 臨床研修説明会への参加（ブースでの面談）



協力型臨床研修施設との連携

- ◆ 協力型臨床施設でのインシデントの収集

平成21年度	29
--------	----

平成22年度	16
--------	----

平成23年度	8
--------	---

平成24年度	18
--------	----

- ◆ 全施設へフィードバック

協力型臨床施設でのインシデント発生の時期的傾向など

インシデント（ヒヤリ・ハット等）事例				平成24年度（7月～2月）協力型臨床研修施設13施設（研修歯科医16名）集計										
分類	番号	内容	例	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計		
受付対応	1	受付・応対・接遇	患者への態度・応対の不備、連絡の行き違い、診療開始時間の遅れ 等	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
	2-1	情報収集・情報伝達の不備	患者に対して	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	2-2	情報収集・情報伝達の不備	医療従事者に対して	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
検査・診断	3	検査・X線写真	構体・写真の取り違い、見間違い、写真の現像ミス、データ転送ミス 等	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
	4	患者誤認	患者名の呼び間違い、患者取り違い、患者名簿の転記ミス 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	5	診断関連	診断時の不備、誤診、診療情報の記載・転記ミス、診療録の読み間違い 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
インフォームド コンセント	6	インフォームドコンセント	説明不足、同意書記載不備、患者等が納得していない状況下での診療 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	7	患者（家族）等とのトラブル、院内暴力	治療結果への不満、コミュニケーションエラー 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
診療	8	口腔内への落下、誤飲、誤嚥	むせこみ、歯科医療器具・材料・補綴物等の落下 等	0	1	1	1	0	0	1	0	4		
	9	歯や口腔・顎・顔面等の損傷	メス、切削器・ヒポクロ等による損傷、咬傷、やけど 等	1	0	2	1	1	0	1	0	6		
	10	異物等の残存、迷入・陥入	上顎洞迷入、ガーゼ・リーマー・注射針・スケーラー残存 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	11	衣服・所持品の汚染、破損・損傷	ヒポクロ材・印象材・接着剤・染色液・赤染め液・血液・火災 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	12	機械・器具の誤操作、破損・紛失	不適切な操作、取扱説明書記載事項の不徹底 等	0	0	0	0	0	1	0	0	1		
	13	部位の間違い	異所部位の治療、上下顎・左右・近接類似歯牙（小臼歯・乳臼歯等）の間違い 等	0	0	1	1	0	0	0	0	2		
	14	神経麻痺等の合併症	下歯槽神経・舌神経麻痺等、知覚鈍磨に不随した不快症状 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	15	処置・手術に関連したその他の有害事象	大量出血、開口障害、腫瘍、嘔吐 等	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
	16	薬剤	処方・調剤間違い、薬剤による副作用、不適切な薬剤使用・管理、処方せんに記載間違い・渡し間違い 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	17	感染制御、院内感染	院内感染マニュアル等の不備、針刺し、滅菌・消毒・手洗い不徹底 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	18	全身状態悪化・救急搬送	高血圧・脳梗塞・不整脈・心筋梗塞等、局所麻酔時の気分不快 等	0	0	0	0	1	0	0	0	1		
	19	転倒・転落、打撲	歯科用ユニットからの転落、身体の巻き込み・損傷、抑制下治療時の圧痕 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	施設管理	20	歯科医療機器・材料、設備等の管理・監督	機器整備不良、水漏れ、駐車場管理 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		21	診療記録記載・管理	不適切なカルテ記載・入力、カルテ・写真・同意書紛失、不適切な保険適応解釈 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		22	歯科技工関連	不適切な作業模型の取扱い、技工指示書間違い、技工物汚染・破損・紛失・取り違い 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
23		防災管理、下記取扱	ガス漏れ、引火、避難経路の確保等法令等に基づいた防災管理の不徹底 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
24		診療従事者管理	不適切な労働環境、無資格者の業務範囲の逸脱、不適切な超過勤務、給与未払い 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	25	その他		0	1	0	0	0	0	0	0	1		
合計				4	2	4	3	2	1	2	0	18		

御清聴有り難うございました